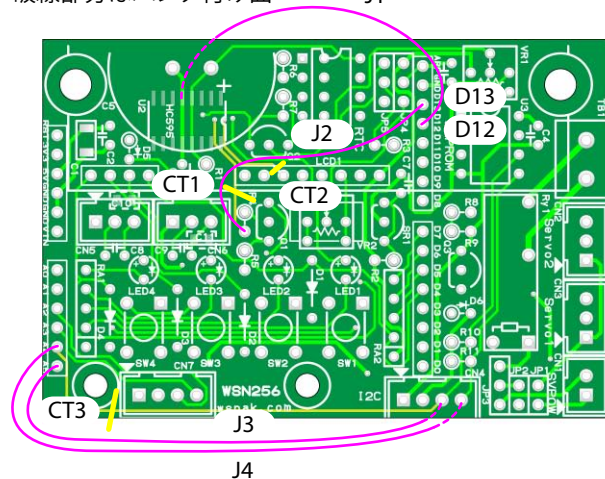


部品面 (シルク印刷あり)

破線部分はハンダ付け面

J1



CT1~CT4はカット箇所
J1~J4はジャンパ箇所

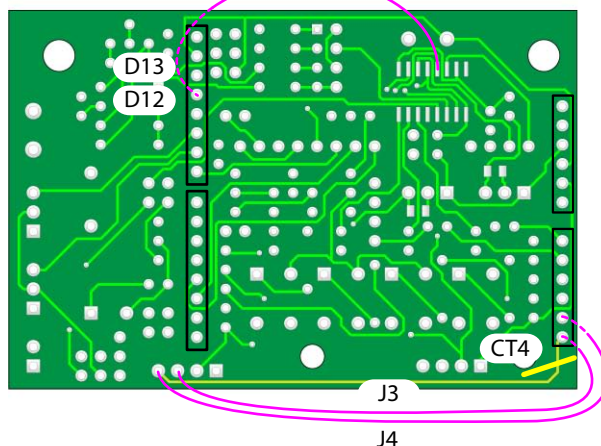
ハンダ付け面

破線部分は部品面

J1

U2(HC595)のpin12

HC595を実装してからJ1を取り付けてください。



作業手順

- ①パターン・カット
- ②HC595取り付け
- ③Arduinoと接続する4本のピンヘッダを取り付け
- ④ジャンパJ1、J2を配線
- ⑤他の部品を取り付け
- ⑥ジャンパJ3、J4を配線

注意

Arduinoと接続する2本のピンヘッダ (8P) 取り付けの際、周辺の部品を先に実装すると、クリアランスがなくなりピンヘッダの取り付けが困難になります。

ジャンパにラッピング・ワイヤのような細いワイヤを使う場合は、ピンヘッダをつける前に、ハンダ付け面側からジャンパのワイヤを挿入しておき、ピンヘッダと一緒に部品面からハンダ付けすれば、ハンダ付け面のみで配線できます。